事務事業名	地域振興事務事業　三国			事業コード	02010150101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8900	記入者名	刀根　進矢
事業対象	地域自治区内市民				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業

実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	大会企画、運営全般
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市総務部まちづくり推進課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

地域自治区の区域に係ることや各総合支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進する。

◆地域振興事務事業
各自治区地域協議会に関する経費や地域振興費

〇負担金、補助及び交付金

・地域自治区体育祭補助金
　三国町民体育祭等事業費補助金　　1,700千円

・スポーツ大会補助金
　三国町地区対抗小学生スポーツ大会事業費補助金　　800千円

・三国節保存伝承事業費補助金　　1,935千円

【事業のコスト】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		800 千円		千円		千円
		需用費		85 千円		96 千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		4,672 千円		4,235 千円		千円		千円
		事業費合計		4,757 千円		5,131 千円		千円		千円
	人件費	正職員	1.00 人	7,109 千円	1.90 人	13,507 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.00 人	7,109 千円	1.90 人	13,507 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			11,866 千円		18,638 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			11,866 千円		18,638 千円		千円		千円
	財源合計			11,866 千円		18,638 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	事業参加者増加率（H22＝100%）	%	目標値	110	達成率	110	達成率	105	達成率	100	達成率
			実績値	117	106.36	70	63.64	115	109.52	-	---
活動	三国節保存伝承事業参加者	人	目標値	3500	達成率	3330	達成率	3000	達成率	2600	達成率
			実績値	3820	109.14	3900	117.12	3780	126	2820	108.46
活動	三国町民体育祭参加者	人	目標値	4000	達成率	4000	達成率	4000	達成率	4000	達成率
			実績値	3000	75	0	0	3000	75	2896	72.4
活動	三国町地区対抗小学生スポーツ大会参加者	人	目標値	700	達成率	700	達成率	700	達成率	700	達成率
			実績値	685	97.86	590	84.29	589	84.14	687	98.14
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	それぞれの事業について、対象経費と対象外経費の精査および経費削減の方法を検討する必要があると考えます。
目標年度　平成26　年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	いずれの事業も、地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して実施することが望ましい事業です。制度等を見直し、市の事業として平等性のある体制に改善していく必要があると考えます。
目標年度　平成30　年度	
取組状況	

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	長年にわたり地域に根差した事業として、今後も地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して実施することが望ましいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	いずれの事業も地域のニーズが非常に高いことから、通年通り継続していくことが望ましいと考えます。ただし、今後も事業主体への移管も視野に入れながら事業を進めていきます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	交付基準などを精査し明確化したうえで、事業費の適正化をはかる必要があると考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	最低限の人員で事務業務を行っているため、現状維持に努めることが望ましいと考えます。			
すぐにできる改善提案	それぞれの事業について、対象経費と対象外経費の精査および経費削減の方法を検討する必要があると考えます。			
目標年度　平成26　年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	いずれの事業も地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために継続して実施することが望ましい事業です。今後は歳入の増加策がないか、事業主体と協議を進めていきます。			
目標年度　平成30　年度				

事務事業名	松くい虫防除事業　三国			事業コード	06020200101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	旧三国町の越前加賀国定公園区域内の海岸区域内、自然公園区域内、及び公共の利益に資する等地域の重要な松林に対して実施します。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業

実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	被害調査事業、地上薬剤散布、特別伐倒駆除、樹幹注入
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業、松くい虫被害特別対策事業			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

国定公園内の景観を構成し、潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫被害から守るため、適期に適正な防除や駆除を行うことにより松くい虫被害の蔓延防止に努め、松林の保全対策を図る。

被害調査、地上薬剤散布、特別伐倒駆除及び樹幹注入を実施する。

○需用費　35千円
　・消耗品費
○委託料　17,932千円
　・松くい虫被害総合対策事業委託料　17,932千円
　　被害調査（県単　県1/2）　一式
　　地上散布（県単　県3/4）　9.5ha
　　地上散布（市単）　10.0ha
　　特別伐倒駆除（全期　市単）　一式
　　特別伐倒駆除（秋期　県単　県3/4）　159m3
　　樹幹注入調査（市単）　一式
　　樹幹注入（秋期　国庫　国1/2　県1/4）3,301本
　・工事積算システム保守点検委託料　107千円
○使用料及び賃借料　129千円
　・設計積算システム使用料
○原材料費　118千円
　・抵抗性クロマツ苗木代等

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		18,038 千円		22,260 千円		千円		千円
		需用費		38 千円		40 千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		246 千円		277 千円		千円		千円
		事業費合計		18,322 千円		22,577 千円		千円		千円
	人件費	正職員	1.76 人	12,512 千円	0.50 人	3,555 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.76 人	12,512 千円	0.50 人	3,554 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			30,834 千円		26,131 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		10,586 千円		10,712 千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			20,248 千円		15,419 千円		千円		千円
	財源合計			30,834 千円		26,131 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	地上散布	ha	目標値	19.5	達成率	19.5	達成率	19.5	達成率	18.8	達成率
			実績値	19.5	100	19.5	100	19.5	100	18.8	
成果	樹幹注入	m3	目標値	410	達成率	500	達成率	522	達成率	452	達成率
			実績値	391	95.37	493	98.6	522	100	452	
活動	樹幹注入施工本数	本	目標値	580	達成率	700	達成率	641	達成率	858	達成率
			実績値	562	96.9	696	99.43	641	100	858	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	被害の撲滅と予防を図り、また、他の事業（松林健全化、美しい森林景観・県単小規模）と連携をとりながら、越前海岸国定公園の維持に努めていきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	防除事業（地上散布・特別伐倒駆除・樹幹注入）の実施により、雄島地区の松林の被害は、面積比率にしますとここ数年かなり低水準となっています。過去の被害木の伐採跡地には、植栽等を実施し緑の再生を図っています。
中長期的に取り組むべき改善提案	松くい虫の被害対策については、今後も継続して実施していくことが、松林の保全対策につながると考えます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	地上散布・樹幹注入の継続。特別伐倒駆除の徹底。抵抗性クロマツ等の植栽。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	松くい虫の被害がなくならない限り、継続して実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	県と協議しながら、今後とも事業を実施していきます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	県の補助事業を有効に活用し、実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	他の業務と兼任しながらの取り組みとなります。			

すぐにできる改善提案	
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	松くい虫被害対策については、今後も事業を継続していくことが、松林の保全対策につながると考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	松林健全化促進事業　三国			事業コード	06020200106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	旧三国町の越前加賀海岸国定公園区域内の海岸区域内、自然公園区域内、及び公共の利益に資する等地域の重要な松林に対して実施します。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	抵抗性クロマツの植栽等
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

松くい虫被害により森林資源の減少した海岸松林等に、地域住民等による抵抗性マツの植栽等を実施し、健全な松林の維持再生を図る。

○委託料　480千円
・松林健全化促進事業委託料

【事業名】　松林健全化促進事業
【補助率等】　3/4（負担割合　国 1/2・県 1/4）
【植栽場所】　三国町安島～崎
【植栽数量】　160本（抵抗性育種植栽松　Ｈ＝70cm）
【事業費】　480千円（うち県補助金　360千円）

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	国・県の助成を受け実施して行く事業であり、抵抗性松の植栽と併せ衰弱木、被害木、枯れ枝の処分が主な事業であり、今後の森林整備の下地となるため今後とも継続していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	海岸防風林・防潮林、また以前のような緑の美しい景観の維持をすることを目的し、本年度は、安島地係３ヶ所に抵抗性クロマツの苗木の植栽を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	５年以上経過した箇所について調査し、適切な維持管理に取り組んでいきます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	継続した抵抗性松の植栽

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		480 千円		480 千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
		事業費合計		480 千円		480 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.51 人	3,626 千円	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.51 人	3,626 千円	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			4,106 千円		978 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		360 千円		360 千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			3,746 千円		618 千円		千円		千円
	財源合計			4,106 千円		978 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	抵抗性松植栽事業費	千円	目標値	480	達成率	480	達成率	1000	達成率	500	達成率
			実績値	480	100	480	100	1000	100	500	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	松くい虫の被害拡大を防ぐためにも抵抗性松の植栽は有効と考えています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	補助事業として対象者が限られているため。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	国庫の補助率が高く、今後とも継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	他の業務と兼任して実施しています。			
すぐにできる改善提案	国・県の助成を受け、抵抗松の植栽に併せ被害木等の処分を継続していく事業で森林整備の基礎となるため、今後とも継続して実施していきます。			
目標年度　ーー　年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	5年以上経過した場所について調査し、適切な維持管理に取り組んでいきます。			
目標年度　ーー　年度				

事務事業名	美しい森林景観再生事業　三国			事業コード	06020210101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	旧三国町の越前加賀海岸国定公園区域内の海岸区域内、自然公園区域内、及び公共の利益に資する等地域の重要な松林に対して実施します。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	抵抗性クロマツ等の植栽、森林の整備等
根拠法令	無				
根拠例規	有	美しい森林景観再生事業実施要領			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林の機能回復や美しい森林の再生を図るため、花木などの広葉樹等の植栽や景観を阻害する不用木の除去を行う。

○委託料　1,000千円
・美しい森林景観再生事業委託料

【事業名】　美しい森林景観再生事業
【補助率等】　9/10（負担割合　県 9/10、市1/10）
【植栽場所】　三国町安島
【植栽数量】　100本（うち抵抗性育種植栽松　76本）
【事業費】　1,000千円（うち県補助金　900千円）

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		1,000 千円		5,500 千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
		事業費合計		1,000 千円		5,500 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.17 人	1,209 千円	0.20 人	1,422 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.17 人	1,209 千円	0.20 人	1,422 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			2,209 千円		6,922 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		900 千円		4,950 千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			1,309 千円		1,972 千円		千円		千円
	財源合計			2,209 千円		6,922 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	森林整備事業費	千円	目標値	1000	達成率	5800	達成率	24600	達成率	17000	達成率
			実績値	1000	100	5500	94.83	24600	100	17000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	未着手箇所の検討を行い、樹種の検討も踏まえて事業展開を図っていきます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	坂井市海浜自然公園をはじめとした景観の美化及び枯松跡地に植栽を施し、緑化の確保に努めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林の機能回復や、美しい森林景観を再生するために、事業を推進していくことが重要と考えます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	昨年度までの事業により、おおよそのエリアについて事業を実施することができましたが、未だ着手できない箇所の検証をし、事業実施に繋げていく考えです。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	松くい虫の被害により損なわれた景観を蘇生させるため、今後も継続して実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	事業実施要領により、実施主体は市となっています。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	5ヵ年計画で事業を実施しており、今後も景観を保てるよう事業展開を図ります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	他の業務と兼任のため厳しいと考えています。			
すぐにできる改善提案	樹種を検討し、事業展開を図っていきます。			
目標年度　ーー　年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	森林の機能回復や美しい森林景観を再生するために、事業を推進していくことが必要と考えます。			
目標年度　ーー　年度				

事務事業名	水産業事務事業　三国			事業コード	06030105101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	福井県漁港漁場協会				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業

実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

漁港、漁場、漁村及び水産都市の総合整備を推進するための活動を行う福井県漁港漁場協会に協賛することにより、坂井市漁村地域の活性化を図る。

漁村漁場施設の整備強化、漁村経済の発展推進のため、福井県漁港漁場協会に負担金を支出する。

負担金241千円
・福井県漁港漁場協会負担金
漁港分基本割　@10,000円×3漁港　30千円
漁場分事業割　22,125,000円×0.3/100　66千円
栽培分均等割　市町　28千円
県単分事業割　117千円

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業総務費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		241 千円		125 千円		千円		千円
		事業費合計		241 千円		125 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.16 人	1,137 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.16 人	1,137 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			1,378 千円		338 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			1,378 千円		338 千円		千円		千円
	財源合計			1,378 千円		338 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	負担金	千円	目標値	341	達成率	130	達成率	130	達成率	276	達成率
			実績値	241	70.67	125	96.15	130	100	276	
活動	事業割負担率	%	目標値	0.3	達成率	0.3	達成率	0.3	達成率	0.3	達成率
			実績値			0.3	100	0.3	100	0.3	
活動	漁港数（基本割）	港	目標値	3	達成率	3	達成率	3	達成率	3	達成率
			実績値	3	100	3	100	3	100	3	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	県漁港漁場協会の負担金(法令外)ですが、漁港漁場整備には必要であるので継続します。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	安島漁港にて浚渫工事を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	制度が変わらない限り継続していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	事業内容について適正に把握していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁港漁場整備には必要なので継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	算出方法が明示されており、妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状を維持していきます。			

すぐにできる改善提案	県漁港漁場協会の負担金（法令外）ですが、漁港漁場整備には必要であるので継続します。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	制度が変わらない限り継続します。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	漁港施設管理事業　三国			事業コード	06030200101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	漁業従事者（雄島漁業協同組合）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	漁港漁場整備法			
根拠例規	有	坂井市漁港管理条例			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

施設の安全管理と有効活用及び漁港施設内の市有地確保利用により、漁業者の作業効率の向上と生産性の拡大を目指し、また関係施設等の環境整備により漁業活動の安全と施設等の保全を図る。

市が管理している第１種漁港3港について、出入港時の安全を確保するため、安島漁港の浚渫を行う。

○修繕料　42千円
・第1種漁港3港（安島、梶、崎）

○工事請負費　2,488.5千円
・県単漁港修築工事費（安島漁港浚渫工事）
【補助率】　県 1/2

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		42 千円		42 千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		6,389 千円		500 千円		千円		千円
		事業費合計		6,430 千円		542 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.30 人	2,133 千円	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30 人	2,133 千円	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			8,563 千円		2,177 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		1,000 千円		250 千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			7,563 千円		1,927 千円		千円		千円
	財源合計			8,563 千円		2,177 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	事故発生率	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
			実績値			0		0	---	0	
活動	漁港利用者数	人	目標値	151	達成率	151	達成率	180	達成率	180	達成率
			実績値			151	100	151	83.89	180	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	市内に第１種漁港が3港あり、地元漁船はもとより、緊急避難港としての役割を担っているため今後も整備が必要です。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	漁港施設の安全性を調査するとともに、安全確保に努めていきます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁港施設の安全管理を図るため必要であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
ｺｽﾄ投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	県道拡幅工事に伴う、漁港改良工事を実施します。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	他の業務と兼任で負担が多く、漁港の適切な維持管理を図るため専任の職員が必要と考えます。			

すぐにできる改善提案	市内に第１種漁港が3港あり、地元漁船はもとより緊急避難港としての役割も担っているため今後も整備が必要です。
目標年度　--　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	漁港の安全確保に努めていきます。
目標年度　--　年度	

事務事業名	浅海漁場改善事業　三国			事業コード	06030200106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	坂井市内の漁業者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等	沿岸域に漂着した漂着物により漁場環境が悪化し、さらに水産資源への影響を及ぼすことを防ぎ、もって漁場環境保全と安定した水産物水揚げに寄与します。
	沿岸域に漂着した漂着物により漁場環境が悪化し、さらに水産資源への影響を及ぼすことを防ぎ、もって漁場環境保全と安定した水産物水揚げに寄与します。漂流物処理費　7.35千円

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		74 千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
		事業費合計		74 千円		千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.26 人	1,848 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.26 人	1,848 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費			1,922 千円		千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			1,922 千円		千円		千円		千円
	財源合計			1,922 千円		千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	処分量	t	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	0	0	0	0	0	
活動	実施回数	回	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	0	0	0	0	0	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	不測事態にそなえ、県と協議しながら対応を図ります。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	冬季の時化による不足の事態に備えて、今後も継続して実施していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	県と協議しながら今後の方向性について見極めていきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁場の漂流物は予測不能なため、万が一に備え現状どおり継続していきたいと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現体制が適当と考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁場環境保全として必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業にあたります。			
すぐにできる改善提案				
目標年度　ーー　年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	万が一に備え現状どおり継続実施していきます。			
目標年度　ーー　年度				

事務事業名	小規模漁場保全事業　三国			事業コード	06030200111
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合（組合員25名、船数12隻）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	海底耕耘
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

福井県の主要な水産ブランド「越前がに」「甘エビ」「アカガレイ」の生息環境となる漁場の積極的な保全・創造を図るため、海底面を耕転し活性化することにより、水産資源の持続的利用、安定供給を確保する。

市が三国港機船底曳網漁業協同組合に委託し、底曳網漁船によりアマエビ、アカガレイの生息域である三国第1漁場（1,570ha）、三国第2漁場（1,510ha）の海底面を耕うんする。

○委託料　29,500千円
・小規模漁場保全事業委託料
　海底耕うん（対象生物　アマエビ・アカガレイ）

負担割合：国 50%・県 25%・市 15%・組合　10%

○使用料及び賃借料　221千円
・検査船傭船料

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		29,500 千円		29,500 千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		221 千円		221 千円		千円		千円
		事業費合計		29,720 千円		29,720 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.22 人	1,564 千円	0.14 人	995 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.22 人	1,564 千円	0.14 人	995 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			31,284 千円		30,715 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		22,125 千円		22,125 千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		3,300 千円		3,300 千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		4,075 千円		千円		千円		千円
	一般財源			1,784 千円		5,290 千円		千円		千円
	財源合計			31,284 千円		30,715 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	漁場回復面積達率	%	目標値	66	達成率	33	達成率	100	達成率	91	達成率
			実績値			32	96.97	100	100	91	
成果	漁場回復面積	km2	目標値	66	達成率	33	達成率	244	達成率	224	達成率
			実績値			32	96.97	244	100	224	
活動	漁獲量	t	目標値	465	達成率	405	達成率	405	達成率	385	達成率
			実績値			465	114.81	405	100	388	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	アマエビ漁場は昭和63年より、アカガレイ漁場は平成12年より継続して事業を行っていることにより、その事業効果は漁獲量にも反映されているので、今後も国、県とも連携を取りながら継続していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	平成25年度以降の長期計画後の漁場保全について、県水産課および漁協と協議を行い今後の方向性を模索しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	県水産課および漁協と協議して、長期計画のもとに取り組んでいきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	長期計画後の漁場保全について、県水産課および漁協と協議を行い今後の方向性について検討していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	安定した漁獲量を確保するために、今後も必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現体制が適当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	今後とも継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	事業効果が反映されているので、今後も継続していきます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	県・漁協と連携して取り組んでいきます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	水産業振興事務事業　三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合の組合員				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

原材料の著しい上昇等により影響を受けた漁業者の経営安定化に寄与することを目的とします。

水産業燃油高騰対策等緊急経営支援資金利子補給事業費補助や水産業経営安定緊急対策資金利子補給事業費補助を行うことにより漁業者経営の安定に寄与します。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		457 千円		888 千円		千円		千円
		事業費合計		457 千円		888 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.22 人	1,564 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.22 人	1,564 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			2,021 千円		1,101 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			2,021 千円		1,101 千円		千円		千円
	財源合計			2,021 千円		1,101 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	水産業経営安定緊急対策資金支給対象者数	件	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値			11	91.67	11	91.67	11	
成果	漁業用原油高騰対策資金支給対象者数	件	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値			7	58.33	7	58.33	7	
活動	対象者事業経費	千円	目標値	625	達成率	889	達成率	1315	達成率	1,709	達成率
			実績値			857	96.4	1315	100	1,709	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	水産業燃油高騰対策等緊急経営資金および水産業経営安定緊急対策資金に対する利子補給ですが、他の事業とあわせて水産業の振興を図っていきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	予算要求どおりの事業実施ができました。
中長期的に取り組むべき改善提案	経済情勢に鑑み、関係機関と協議しながらの継続が必要と考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	経済情勢に鑑み、関係者と協議しながら検討していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業者の経営安定を図るため今後も必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業者の経営安定を図るため今後も必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				

すぐにできる改善提案	水産業の振興を図っていきます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	経済情勢を鑑み、関係機関と協議しながら必要と考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	水産業経営安定事業　三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合の組合員				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【利子補給】漁業施設整備等の資金借り入れに対し利子補給を行なうことにより、漁業経営の改善を推進し経営の安定化を図ります。
【漁獲共済】漁獲共済の掛金の一部助成を行うことにより漁獲共済加入を促進し、不漁災害時においても漁業経営の安定を図ることを目的とします。

★漁業近代化資金利子補給事業補助金
漁船の建造・改築、漁船修理、漁具及び漁具倉庫、船揚施設の改良、造成又は所得に必要な資金（福井県信用漁業協同組合連合会に借入れ申込書と償還計画書を提出し、連合会で審査決定された資金）の借入れ金に対し、福井県信用漁業協同組合を通じて補助を行ないます。
★漁獲共済加入助成事業費補助金
共済加入契約割合が80%以上の加入者の掛金に対して、掛金の10%以内で補助を行います。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		1,920 千円		2,158 千円		千円		千円
		事業費合計		1,920 千円		2,158 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.06 人	427 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.06 人	427 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			2,347 千円		2,371 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			2,347 千円		2,371 千円		千円		千円
	財源合計			2,347 千円		2,371 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	利子補給利用件数	件	目標値	20	達成率	20	達成率	20	達成率	20	達成率
			実績値			18	90	20	100	20	100
成果	漁業共済加入者数	人	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値			12	100	12	100	7	58.33
活動	利子補給額	千円	目標値	1727	達成率	1892	達成率	2448	達成率	2466	達成率
			実績値			1538	81.29	2448	100	2466	100
活動	坂井市漁獲共済加入助成事業補助金	千円	目標値	625	達成率	651	達成率	847	達成率	847	達成率
			実績値			620	95.24	847	100	847	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	【利子補給】貸付制度の見直しを行うとともに、漁船漁具の整備を図り漁業振興につなげます。 【漁獲共済】加入率が80%加入することを目標に推進します。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	県信連と連絡を密にし、正確な数値の把握に努めます。
中長期的に取り組むべき改善提案	漁業経営の安定化を図るため、継続しての支援が必要と考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	社会情勢利用状況を鑑み、関係者と協議しながら検討していきます。

【担当者評価】

効率性	【事務の効率化] 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入] 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策] 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果] 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し] 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合] 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
妥当性	【市民のニーズ] 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性] 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性] 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業従事者が、安定した生活を図るために今後も必要であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在どおりがふさわしいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	経済情勢を鑑み、現状どおり実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	漁業経営の安定化を図るため、継続して必要と考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	漁業振興資金融資事業　三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等	
	漁業経営基盤の強化を図るため、坂井市が中小企業経営基盤強化及び事業活性化のため制度化している、坂井市中小企業者等振興資金融資事業に準じた制度を、漁業協同組合に対しても制度化し、経営基盤の強化を図る。
	市は福井県信用漁業協同組合連合会（県信連）に資金を預託し、県信連は預託を受けた金額にその５倍以上の自己資金を加えた額を漁業協同組合に対して融資する。 資金：自己資金 融資期間：１年以内 預託金額の５倍協調 融資限度額：120,000千円

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	初年度の事業であるため、今後の動向を見ていきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	予算どおり県信連へ貸付けを行い、これに対して漁業へ融資を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	継続して事業を実施していく必要があると考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	利用状況や経済情勢を鑑み、また、他の事業とのバランスを考えて検討していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		20,000 千円		20,000 千円		千円		千円
		事業費合計		20,000 千円		20,000 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.07 人	498 千円	0.04 人	284 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.07 人	498 千円	0.04 人	284 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			20,498 千円		20,284 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		20,000 千円		20,000 千円		千円		千円
	一般財源			498 千円		284 千円		千円		千円
	財源合計			20,498 千円		20,284 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	利用件数	件	目標値	18	達成率	10	達成率		達成率		達成率
			実績値			10	100				
活動	利子補給額	千円	目標値	587	達成率	453	達成率		達成率		達成率
			実績値			245	54.08				
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業協同組合の経営基盤強化および安定のために必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現体制がふさわしいと考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	利用実績もあり、現状のまま必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状どおり必要と考えます。			

すぐにできる改善提案	今後の動向を見ていきます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	動向を見ながら、継続して実施していく必要があると考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	制度融資利子補給事業　三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

漁業振興資金融資事業により、融資を受けた漁業協同組合に対し、その償還利子の一部を利子補給することにより、漁業経営基盤の強化を図る。

1年間分の償還利子の一部（1%の利子相当額）の補給
H24年度補給対象期間（H24年4月～12月間）に支払った利子

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		442 千円		245 千円		千円		千円
		事業費合計		442 千円		245 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.07 人	498 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.07 人	498 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			940 千円		458 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			940 千円		458 千円		千円		千円
	財源合計			940 千円		458 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	利用件数	件	目標値	18	達成率	10	達成率		達成率		達成率
			実績値			10	100				
活動	利子補給額	千円	目標値	587	達成率	453	達成率		達成率		達成率
			実績値			245	54.08				
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	利用実績を見て判断していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	事業実績に応じた利子補給を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	融資の状況や、経済情勢に鑑み、その時代に応じた見直しを図っていきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	関係機関と協議しながら、今後の事業展開について検討していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業協同組合の経営基盤強化および安定を図るために必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状のままでよいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	経済情勢を鑑み必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状どおり必要と考えます。			

すぐにできる改善提案	利用実績を見て判断していきます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	経済情勢を鑑み、見直し等を図っていきます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	栽培漁業自立支援事業　三国			事業コード	06030210106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	市内にある漁業協同組合及び漁業者が組織する団体				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）

実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

栽培漁業を推進することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁業資源の回復を図ることと併せ、資源管理型漁業を推進することにより資源の持続的な活用を目指し、天然マダイ、天然ヒラメ、アワビ等の漁獲量シェアーの確保が可能な体制を作ることにより、中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図ります。

・三国港漁業協同組合
種苗放流事業を自立して継続実施するための新たな体制を整備することを目的に、放流経費の負担、漁獲の実態把握について検討します。併せてこれまでの放流事業の効果を維持するため、天然資源への添加を目的に種苗の中間育成放流を実施し事業の自立を図ります。　種苗放流
・雄島漁業協同組合
稚貝放流事業を行うことにより、資源の維持及び回復が図られ、今後の漁獲量及び漁業収入の増加が期待できます。稚貝放流事業

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		2,128 千円		2,002 千円		千円		千円
		事業費合計		2,128 千円		2,002 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.25 人	1,777 千円	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.25 人	1,777 千円	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			3,905 千円		3,637 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			3,905 千円		3,637 千円		千円		千円
	財源合計			3,905 千円		3,637 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	放流達成率	%	目標値	100	達成率	67	達成率	34	達成率	100	達成率
			実績値			67	100	34	100	100	
活動	放流数（アワビ）	個	目標値	39000	達成率	42000	達成率	51000	達成率	51000	達成率
			実績値			42000	100	51000	100	51000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	坂井市ならではの、優良な漁業資源を確保し、漁業従事者の安定した生活を図ることが重要であると考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	ヒラメ、マダイ、アワビの放流事業を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	水産物の安定した供給を図り、漁業後継者の間接的育成につなげていきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	水産物の安定した供給を図り、漁業後継者の関節的育成につなげていきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業資源を図るためにも必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業従事者の安定した生活確保のために必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	他の業務の担当者と協力しながら実施しているため、最低限現状どおり必要と考えます。			

すぐにできる改善提案	優良な漁業資源を確保し、漁業従事者の安定した生活確保のために必要と考えます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	水産物の安定した供給を図り、漁業従事者の育成および安定した生活確保のために必要と考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	越前がにブランド化事業　三国			事業コード	06030210116
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合の組合員、水産業、観光産業に携わる者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）

実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

坂井市の重要な水産ブランドである「越前ガニ」の高付加価値化の取り組みをすることにより水産振興を行います。また、それによる地域経済活性も期待します。

坂井市三国港で水揚げされたズワイガニについて、「越前ガニ」タグを取り付けて他港のカニとの差別化をすることにより価格安定を図ります。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		971 千円		972 千円		千円		千円
		事業費合計		971 千円		972 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.25 人	1,777 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.25 人	1,777 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			2,748 千円		1,185 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			2,748 千円		1,185 千円		千円		千円
	財源合計			2,748 千円		1,185 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	漁業従事者数	人	目標値	75	達成率	75	達成率	75	達成率	75	達成率
			実績値			75	100	75	100	75	
成果	越前がに水揚高	千円	目標値	400000	達成率	400000	達成率	382984	達成率	382984	達成率
			実績値			400700	100.18	382984	100	382984	
活動	かにタグ作成数	個	目標値	100000	達成率	100000	達成率	120000	達成率	120000	達成率
			実績値			100000	100	120000	100	120000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	平成10年度から実施している事業であり、平成24年度までの期間設定で越前ガニの表示（タグ）をするものでありますが、定着してきた段階で検討する必要があると考えます。
目標年度　平成26　年度	
取組状況	「三国温泉かに祭」により、観光、商工、水産振興発展に取り組みました。
中長期的に取り組むべき改善提案	継続が必要と考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	助成のあり方、自立について関係者と協議していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	貴重な水産資源である越前ガニのブランド化により、付加価値を高めることがきるため必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	数量の把握等を考えると現状どおりがふさわしいと考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	ブランド化に重要な事業と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状どおり必要と考えます。			
すぐにできる改善提案	越前ガニの表示をするもので、ブランド化が定着してきた段階で検討する必要があると考えます。			
目標年度　ーー　年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現在は、継続が必要と考えます。			
目標年度　ーー　年度				

事務事業名	三国港内夜間安全確保事業　三国			事業コード	06030210126
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合の組合員、三国港を航行する船舶及び観光客				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

福井港内にある三国港地区内における船舶の安全航行と、漁業者及び観光客等の転落事故等を防止するため、三国港機船底曳網漁業協同組合が三国港内に設置してある投光機の電気料を補助します。

漁業者、観光客及び歩行者の港内への転落事故を防止します。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		720 千円		720 千円		千円		千円
		事業費合計		720 千円		720 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.06 人	427 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.06 人	427 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			1,147 千円		933 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			1,147 千円		933 千円		千円		千円
	財源合計			1,147 千円		933 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	船舶数	隻	目標値	13	達成率	13	達成率	13	達成率	13	達成率
			実績値			13	100	13	100	13	
活動	船舶数	隻	目標値	13	達成率	13	達成率	13	達成率	13	達成率
			実績値			13	100	13	100	13	
活動	転落事故件数	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
			実績値			0		0	---	0	
活動	補助金額	千円	目標値	720	達成率	720	達成率	720	達成率	720	達成率
			実績値			720	100	720	100	720	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	漁業者はもとより、一般市民の安全（転落防止）にも寄与するものであるので、必要と考えます。。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	電気料が過大になっていないかチェックしています。
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も継続して取り組む必要があると考えます。。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	ハード的機能が失われた時に検討課題として提案します。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	三国港内の安全確保（転落防止等）のために必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	他に補填する期間がないため、現状どおりと考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	三国港内の安全確保（転落防止等）のために必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状どおりで事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	漁業者はもとより、一般市民の安全確保（転落防止等）のためにも必要と考えます。
目標年度　--　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も継続して取り組み必要があると考えます。
目標年度　--　年度	

事務事業名	漁業関係種苗中間育成施設補修事業　三国			事業コード	06030210131
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	市内にある漁業協同組合及び漁業者が組織する団体				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業

実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

栽培漁業を推進することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁業資源の回復を図ることと併せ、資源管理型漁業を推進することにより資源の持続的な活用を目指し、天然マダイ、天然ヒラメ、アワビ等の漁獲量シェアーの確保が可能な体制を作ることにより、中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図ります。

栽培漁業を推進することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁業資源の回復を図ることと併せ、資源管理型漁業を推進することにより資源の持続的な活用を目指し、天然マダイ、天然ヒラメ、アワビ等の漁獲量シェアーの確保が可能な体制を作ることにより、中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図ります。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		200 千円		200 千円		千円		千円
		事業費合計		200 千円		200 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.06 人	427 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.06 人	427 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			627 千円		413 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			627 千円		413 千円		千円		千円
	財源合計			627 千円		413 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	補修件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値			1	100	1	100	1	
活動	放流数（アワビ）	個	目標値	39000	達成率	42000	達成率	51000	達成率	51000	達成率
			実績値			42000	100	51000	100	51000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	2市2町（福井市・坂井市・越前町・南越前町）が共同で建設し維持している中間施設であり、今後低コストな器具導入など検討し維持していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	栽培漁業自立支援事業を効果的に、継続的に実施するため種苗中間育成施設の改善を嶺北地域栽培漁業推進協議会を通じて行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	事務局の負担を軽減するために、専任職員を雇用し、4地区で人件費を負担します。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	平成26年度より専任職員を雇用します。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業資源の中間育成施設の存続のために、今後も必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	協議会の会員として今後も継続していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	事務局の福井市より、事務負担の増に伴う選任職員の雇用による人件費を4地区で負担する。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状で事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	２市２町（福井市・坂井市・越前町・南越前町）が共同で建設し維持している中間施設であり、低コストな機器等の購入を検討する必要があります。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に伴う対応について、今後の検討課題となると思われます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	内水面漁業振興事業　三国			事業コード	06030210136
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	竹田川漁業協同組合の組合員				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

内水面漁業資源増大を図るため、組織的な種苗放流及び種苗生息環境整備等を行い、あわせて豊かで住みよい地域の振興に資することを目的とします。

【放流事業】
平成24年度において、アユ、、ヤマメ、アマゴの放流を実施しました。
【魚場維持管理事業】
漁場環境美化活動(清掃等）を年間4回行いました。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		90 千円		90 千円		千円		千円
		事業費合計		90 千円		90 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.10 人	711 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10 人	711 千円	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			801 千円		303 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			801 千円		303 千円		千円		千円
	財源合計			801 千円		303 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	遊魚証販売額	千円	目標値		達成率	600	達成率	600	達成率	600	達成率
			実績値					600	100	600	
活動	種苗放流数	kg	目標値		達成率	150	達成率	100	達成率	105	達成率
			実績値					197	197	105	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	定額補助であり、今後とも継続し安定した内水面漁業の振興を図ります。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	事業内容を的確に把握し、今後も助成について取り組んでいきます。
中長期的に取り組むべき改善提案	内水面漁業の振興発展のため、継続して取り組んでいきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	地元に密着した利便性を考えて取り組んでいくべきと考えます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	竹田川水系の水産資源の確保のため必要であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	地元漁協に関することなので、現状どおりが妥当と考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	定額補助であり、今後も継続し、安定した内水面漁業の振興を図る必要があると考えます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	安定した内水面漁業の振興を図るため、継続して取り組む必要があると考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	三国市場さかな祭事業　三国			事業コード	06030210156
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	三国港網本おかみ会・海女さん・甘えびまつり実行委員会				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

坂井市で獲れた水産物の価値を高め、市内外にＰＲするとともに、産地の信頼性及び高付加価値化による販売の優位性を確保するために実施する事業に要する経費について支援し、水産振興の推進を図ることを目的として交付します。

９月中旬に三国魚市場において「三国港網本おかみ会・海女さん・三国市場さかな祭」を実施することにより、坂井市で獲れた水産物を市内外にＰＲするとともに、坂井市水産物の安全性、高付加価値化による販売の優位性を高めることが図れました。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		210 千円		987 千円		千円		千円
		事業費合計		210 千円		987 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.26 人	1,848 千円	0.11 人	782 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.26 人	1,848 千円	0.11 人	782 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			2,058 千円		1,769 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			2,058 千円		1,769 千円		千円		千円
	財源合計			2,058 千円		1,769 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	参加団体数	団体	目標値	10	達成率	10	達成率		達成率		達成率
			実績値			10	100		---		---
成果	来場客数	人	目標値	3000	達成率	3000	達成率		達成率		達成率
			実績値			5000	166.67				
活動	メニュー数	個	目標値	15	達成率	14	達成率		達成率		達成率
			実績値			14	100		---		---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	事業規模を縮小し、内容を充実させた開催に対する助成を行います。
目標年度　平成25　年度	
取組状況	坂井市の水産物の販売が促進され、本市水産振興の水産が図られた。
中長期的に取り組むべき改善提案	開催のあり方、内容、時期等を検討しながら継続が必要と考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	他のイベントとのコラボや観光事業との連携も考慮に入れ、水産物のＰＲの仕方について検討していきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	Ａ．薄れていない Ｂ．少し薄れている Ｃ．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	Ａ．妥当である Ｂ．あまり妥当でない Ｃ．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	Ａ．偏っていない Ｂ．多少偏っている Ｃ．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	Ａ．できない Ｂ．検討の余地あり Ｃ．できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	Ａ．できない Ｂ．検討の余地あり Ｃ．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	Ａ．余地はない Ｂ．検討の余地あり Ｃ．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	Ａ．順調である Ｂ．あまり順調でない Ｃ．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	Ａ．余地はない Ｂ．検討の余地あり Ｃ．見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	Ａ．できない Ｂ．検討の余地あり Ｃ．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	水産資源の販売および水産振興のために必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	本年度規模を縮小して実施したため			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現状の人員で対応します。			

すぐにできる改善提案	坂井市で獲れた水産物を市内外にさらにＰＲすることにより、販売性を高めることが必要と考えます。
目標年度　--　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市で獲れた水産物を市内外にＰＲするとともに、坂井市水産物の安全性、高付加価値化による販売の優位性を高めることが必要と考えます。
目標年度　--　年度	

事務事業名	水産多面的機能発揮対策事業　三国			事業コード	06030220101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	田島　康亨
事業対象	藻場の環境・生態系保全を目的とする団体。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）

実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、海洋環境の変化等に進行している藻場・干潟の減少や機能低下を防ぐことを目的とします。

漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、海洋環境の変化等に進行している藻場・干潟の減少や機能低下を防ぎます。

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		164 千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		114 千円		千円		千円		千円
		事業費合計		278 千円		千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.48 人	3,412 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.48 人	3,412 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費			3,690 千円		千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		275 千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			3,415 千円		千円		千円		千円
	財源合計			3,690 千円		千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	活動団体数	団体	目標値	5	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
			実績値			4	100	4	100	4	
活動	保全活動回数	回	目標値		達成率	70	達成率	70	達成率	50	達成率
			実績値			79	112.86	64	91.43	70	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	平成25年度から3ヵ年事業として、現在の4地区に1地区を加えて実施していきます。
目標年度　平成26　年度	
取組状況	藻場の保全、岩盤清掃、岩起こし、海岸清掃を雄島地区5団体で実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	単年度毎に事業実施内容を検討しながら継続が必要。
目標年度　平成26　年度	
取組状況	藻場の保全、岩盤清掃、岩起こしを雄島地区5団体で実施します。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動のため必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	水産庁のマニュアルに基づいた事業となるため。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	事業実施状況を見ながら考える必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	藻場・干潟などの保全活動は今後も必要と考えます。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、機能低下を防ぐことが必要と考えられます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	観光振興対策事業　三国			事業コード	07010400106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	市民　観光客　観光産業関係者				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市財務規則　坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

三国地域には、見る、遊ぶ、泊まるの多くの観光資源が点在しています。この貴重な観光資源を活かし、観光客誘致に貢献している団体等を支援することにより観光振興を図ります。

団体事業補助金
- 三国サンセットビーチ振興会事業補助金（350千円）
- 浜地浜茶屋振興会事業補助金（126千円）
- 三国町民宿組合事業補助金（120千円）
- NPO法人ボランティアガイドきたまえ三国事業補助金（100千円）
- 一般社団法人三國會所事業補助金（1,800千円）
- 観光魅力づくり活動支援事業補助金（2,000千円）

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		4,496 千円		2,496 千円		千円		千円
		事業費合計		4,496 千円		2,496 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.45 人	3,199 千円	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.45 人	3,199 千円	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			7,695 千円		2,994 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			7,695 千円		2,994 千円		千円		千円
	財源合計			7,695 千円		2,994 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	観光客入込数（三国地区のみ）	人	目標値	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率
			実績値	4331394	108.28	2757888	68.95	2639085	65.98	4081994	100.08
活動	補助金交付額（合計）	千円	目標値	4496	達成率	2496	達成率	2566	達成率	2566	達成率
			実績値	4496	100	2496	100	2496	97.27	2566	9.98
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	各団体の事業実施状況に応じた対応を図ります。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	事業主体団体のヒアリング
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市全体の補助金の見直しの中で適正かどうか検討していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	事業内容を精査し、適正化を図ります。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	観光客誘致に貢献している団体への助成として必要なものと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	補助金の性質上、やむを得ないと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	各団体の事業実施状況を踏まえて、検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	支所のみでの対応が困難になってきています。			

すぐにできる改善提案	各団体の事業実施状況に応じた対応を検討します。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	補助金見直しの中で適正かどうか検討していきます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	三国温泉カニまつり事業　三国			事業コード	07010410111
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	市内で観光に携わる人、市民。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市財務規則　坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱　三国温泉カニまつり実行委員会事業補助金交付要領			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

市民間の交流、リピーター観光客増を目指します。

「三国温泉カニまつり実行委員会」が実施する、越前ガニ等の販売促進及び観光アピールを目的とした三国温泉カニまつりに対し補助を行ないます。
・助成額：補助対象事業費の1/2以内で2,700,000円を上限額とします。　　事業実績：2,500,000円

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		2,500 千円		2,600 千円		千円		千円
		事業費合計		2,500 千円		2,600 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.37 人	2,630 千円	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.37 人	2,630 千円	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			5,130 千円		3,951 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			5,130 千円		3,951 千円		千円		千円
	財源合計			5,130 千円		3,951 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	補助額	円	目標値	2500000	達成率	2600000	達成率	2700000	達成率	2700000	達成率
			実績値	2500000	100	2600000	100	2700000	100	2700000	---
活動	来場者数	人	目標値	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率
			実績値	20000	66.67	16000	53.33	18000	60	35000	116.67
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	観光PRを目的とした事業ですので、今後も継続していきます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市の目玉である越前ガニのＰＲ手段の一つとして、重要な位置づけにあるイベントであり、観光と水産が連携して取り組んでいくべき事業と考えます。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	観光産業の振興を図れる事業であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	三国温泉カニまつり実行委員会が主体です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	状況に応じてその都度検討していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	三国温泉カニまつり実行委員会が主体ですが、連携協力していくために現状どおり必要です。			

すぐにできる改善提案	観光PRの事業の一つとして、今後も継続していきます。
目標年度　--　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	越前ガニのPR事業の一つとして、重要なイベントであり今後も継続していく必要があると考えます
目標年度　--　年度	

事務事業名	自然環境保全用地管理事業　三国			事業コード	07010500101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	市民および観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	自然環境保全用地整備業務委託
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

越前加賀海岸国定公園に指定されている三国町内海岸線の優れた自然環境を保全します。

市が対象となる用地を借上げることにより乱開発を抑止するとともに、定期的な除草や清掃など適正な維持管理を行なうことにより景観保全を図します。
【事業内容】
①環境保全用地の借上げ
②業者委託による除草・清掃管理
③市民との協働による植栽活動の展開

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		5,152 千円		5,149 千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		6,225 千円		6,225 千円		千円		千円
		事業費合計		11,377 千円		11,374 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.29 人	2,062 千円	0.24 人	1,706 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.29 人	2,062 千円	0.24 人	1,706 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			13,439 千円		13,080 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		千円		千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			13,439 千円		13,080 千円		千円		千円
	財源合計			13,439 千円		13,080 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	維持管理している保全用地の面積	㎡	目標値	102325	達成率	102325	達成率	102325	達成率	102325	達成率
			実績値	102325	100	102325	100	102325	100	102325	130.59
成果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
活動	保全用地の維持管理回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100	2	100	2	100
活動			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理を行います。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	自然環境用地の草刈、投棄ゴミの回収を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理に努め、優れた自然景観を創造する努力をしていきます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	他の事業と連携して、越前加賀海岸国定公園の美しい自然環境が損なわれないよう事業展開を図っていきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	国定公園の海岸線において自然環境を保全するために必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	他の事業と連携していくために、現状どおりと考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	自然環境を保全するために必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業にあたります。			

すぐにできる改善提案	国定公園の海岸線において自然環境を保全するために、除草・清掃管理を行います。
目標年度　ーー　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	国定公園の海岸線において自然環境を保全するために、維持管理が必要と考えます。
目標年度　ーー　年度	

事務事業名	海浜自然公園維持管理事業　三国			事業コード	07010510131
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	市民及び観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光のネットワーク化		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	清掃管理委託
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

県下有数の観光地であることを念頭に、常に市民及び観光客が快適で安全に利用できる観光施設を維持管理します。

海浜自然公園維持管理事業

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		8,340 千円		9,052 千円		千円		千円
		需用費		2,214 千円		2,350 千円		千円		千円
		役務費		257 千円		257 千円		千円		千円
		その他		2,201 千円		1,103 千円		千円		千円
		事業費合計		13,012 千円		12,762 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.48 人	3,412 千円	0.43 人	3,057 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.48 人	3,412 千円	0.43 人	3,057 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			16,424 千円		15,819 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		2,989 千円		2,919 千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		1 千円		千円		千円
	一般財源			13,435 千円		12,899 千円		千円		千円
	財源合計			16,424 千円		15,819 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	海浜自然公園の入込み数	人	目標値	23000	達成率	23000	達成率	23000	達成率	23000	達成率
			実績値	23759	103.3	22520	97.91	24242	105.4	24769	---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	市民および観光客が快適で安全に利用できる維持管理が必要。
目標年度　未設定　年度	
取組状況	県自然環境課等と連携し、国庫補助金等の対象を検討します。
中長期的に取り組むべき改善提案	県内に入り込む観光客の４割が本市を訪れています。経済効果なども考慮し、リピーターの増加などを考えた場合、良い印象をもってもらうよう努力が必要となります。 既存施設の維持管理、清掃などは不可欠であり、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努めていく必要があります。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	施設の巡回・点検等を行い、なるべく早い対応を行うよう努力します。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	公園が快適に利用できるように維持管理を実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由				
ｺｽﾄ投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	施設の老朽化が進んでいるため、必要な修繕工事を実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で対応するように努力します。			

すぐにできる改善提案	公園が快適に利用できるように維持管理が必要と考えます。
目標年度　--　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	公園施設が快適に利用できるように維持管理は必要であり、今後も継続して実施していくことが必要と考えます。
目標年度　--　年度	

事務事業名	三国サンセットビーチ駐車場管理事業　三国			事業コード	07010510136
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤　紀之
事業対象	市民及び観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光のネットワーク化		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	管理委託
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

県下有数の観光地であることを念頭に、常に市民及び観光客が快適で安全に利用できる観光施設を維持管理します。

三国サンセットビーチ駐車場管理事業　三国

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費

			平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		2,370 千円		2,427 千円		千円		千円
		需用費		千円		千円		千円		千円
		役務費		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
		事業費合計		2,370 千円		2,427 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.52 人	3,697 千円	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52 人	3,697 千円	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円
	総事業費			6,067 千円		2,925 千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		使用料･手数料		2,370 千円		2,427 千円		千円		千円
		分担金･負担金		千円		千円		千円		千円
		地方債		千円		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円		千円
	一般財源			3,697 千円		498 千円		千円		千円
	財源合計			6,067 千円		2,925 千円		千円		千円

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	駐車場の駐車料金	円	目標値	3250000	達成率	3505000	達成率	3510000	達成率	3670000	達成率
			実績値	3245500	99.86	3333500	95.11	3120500	88.9	3741000	101.93
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

すぐにできる改善提案	２５年度にリニューアルオープンすることにより、より観光客等が快適で安全に利用できるよう努めます。
目標年度　平成25　年度	
取組状況	県予算によりリニューアル改修を行っているが、市も必要に応じて維持管理の予算措置が必要になっている。こうした中、施設の巡回・点検を行い、利用客の苦情が出ないよう早期の対応を行っている。
中長期的に取り組むべき改善提案	市民、団体等と協力しながら、維持管理等を推進する必要があると考えます。
目標年度　平成28　年度	
取組状況	駐車場及び周辺施設の美化を図り、利用客へのイメージダウンを防ぐとともに、観光客の誘致を図っていきます。

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A．薄れていない B．少し薄れている C．薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A．妥当である B．あまり妥当でない C．妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A．偏っていない B．多少偏っている C．偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができませんか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A．順調である B．あまり順調でない C．順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A．余地はない B．検討の余地あり C．見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A．できない B．検討の余地あり C．できる	A

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	観光客等の誘致のためにも、駐車場の美化を図るなど管理が必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	国・県・地元と連携しながら市が主体となっていくのが望ましいと考えます。			
ｺｽﾄ投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	リュニーアルに伴い、県から市へ管理が移行されるため維持管理費を投入すべきと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	ーー	年度を目安
判断理由	現在の人員で努力します。			

すぐにできる改善提案	観光客等が快適に利用できるように努めていきたいと考えます。
目標年度　--　年度	
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・団体等と連携協力しながら、維持管理等推進する必要があると考えます。
目標年度　--　年度	